

部課名		議会事務局											
課の使命		<ul style="list-style-type: none"> ・議会の権能を十分に発揮できるよう市議会を補佐する機関として、円滑な議会運営に努めます。 ・市民の代表である市議会議員の議員活動をサポートすると共に、正確で迅速な議会情報を広くわかりやすく提供していくことで、市民・議員(来市される他市の議員を含む)・行政など幅広い顧客の信頼へとつなげていきます。 											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定													
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	中間確認		年度末確認				
							上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	-	議場見学の推進	小学3年生の社会科見学等を受け入れます。受け入れに際しては、各関係部署と見学内容や実施方法の協議を行い、より利用しやすく興味を持っていただけるような議場見学を実施していきます。	議場の見学者数	3,400人	○	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校社会科見学について、関係部署と日程調整を重ね、積極的に受け入れています。上半期の受入件数は、8校(741人)です。 ・8月8日(木)に「夏休み子どもフェア」での小学生による議場体験(45人参加)を開催しました。 ・9月末時点の議場見学者数は965人です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下半期の小学校社会科見学の受入件数は、29校(2,430人)の予定です。 ・11月3日(日)に「高校生と町田市議会議員の意見交換会」を、11月30日(土)に「まちカフェ！」を開催する予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校社会科見学の年間受入数は、37校(3,201人)となりました。関係部署や小学校と事前調整を行い、各小学校が見学日程や行程を組みやすくなるよう柔軟に対応し、昨年度(2023年度)に比べて、受け入れ人数が114人増加しました。 ・若い世代の市議会に対する関心が高まるように、「夏休み子どもフェア」での小学生による議場体験(小学生45人参加)や「高校生と町田市議会議員の意見交換会」(高校生46人参加)を開催しました。また、新たに、10月19日(土)には「第20回子ども達の税サミット」で小学校5・6年生による議場での「税」をテーマとした意見交換等(小学生17人参加)を実施しました。 ・上記の他、他自治体の行政視察等で、359人が議場見学を行いました。 ・「まちカフェ！」で議場コンサートを開催しました。また、1月12日(日)には「町田市庁舎バリアフリーツアー」で小学生とその保護者による議場内のバリアフリー箇所の見学を実施しました。 	3,668人	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	若い世代の市議会に対する関心を高めていくため、引き続き関係部署と連携し、小学校社会科見学等の受け入れを実施していく必要があります。

年度目標設定					中間確認		年度末確認						
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
2	-	情報発信の研究	社会情勢等の変化に即した情報発信(SNS・ホームページの活用等)を研究していきます。	情報発信の検証・研究	検証・研究の実施	○	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会だより第232号(4月30日発行号)から、電子書籍版について市議会ホームページのほか、「MC Catalog+(エムシーカタログプラス)/カタログポケット」への掲載を開始し、情報のアクセシビリティを高めました。 ※「MC Catalog+(エムシーカタログプラス)/カタログポケット」とは、広報紙をスマートフォンやパソコンから、いつでも手軽に読むことができ、多言語自動翻訳、音声読み上げなどの機能が利用できる情報配信ツールです。 ・議場傍聴席モニター、本会議中継における字幕表示の開始について、市議会ホームページ、市議会だより及び町田市議会(町田市公式)X(旧Twitter)において周知を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、社会情勢等の変化に即した効果的な情報発信(SNS・ホームページでの活用等)を研究していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢等の変化に即した情報発信(SNS・ホームページの活用等)検証・研究の成果として、年間で以下の5件について取り組みました。 ・市議会だより第232号(4月30日発行号)から、電子書籍版について市議会ホームページのほか、「MC Catalog+(エムシーカタログプラス)/カタログポケット」への掲載を開始し、情報のアクセシビリティを高めました。 ・議場傍聴席モニター、本会議中継における字幕表示の開始について、市議会ホームページ、市議会だより及び町田市議会(町田市公式)X(旧Twitter)において周知を行いました。 ・市議会だよりの記事作成にあたり、二次元コードを活用し、町田市議会や町田市のホームページを案内するなど、広報の仕方をわかりやすく、見やすいように工夫しました。 ・町田市議会(町田市公式)X(旧Twitter)にサムネイルを表示させるため、市議会ホームページに追加設定し、広報の連携を強めました。 ・議会中継の休憩の際に流れる映像について、高校生との意見交換会動画や市の取組の映像を加え更新し、町田市議会、町田市の活動をより身近に感じてもらえるようにしました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検証・研究の実施 ・新規での情報発信の取組を実施 	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	今後も社会情勢等の変化に即した情報発信の方策を研究し続けていく必要があります。

年度目標設定					中間確認		年度末確認						
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
3	-	業務課題改善 の提案及び取組	課内の業務を見直し、課題の発見や改善案を検討し、業務を平準化、効率化するための取組を行います。	①課題・改善の提案件数 ②業務効率化の取組件数	①5件 ②3件	○	課内の事務事業を見直し、以下の5件について、業務効率化の改善案を提案・検討しました。 ・新議場システムの議会中継マニュアルの作成 ・視察受入れに関する業務の効率化 ・傍聴受付時における報道対応に関する情報共有方法の見直し ・調査法制係所管業務マニュアルを見直し、再整備し、共有することによる業務効率化 ・議長公務関連資料の電子化 このうち、以下の2件に取り組み、業務を効率化しました。 ・新議場システムに対応した、議会中継開始から録画配信公開までのマニュアルを作成、担当者間で共有しました。これにより、業務効率化と作業を標準化しました。 ※新議場システムとは、議場、委員会室の音響映像設備及びその他附帯設備のことです。 ・議長公務に関する資料の電子化によって、関係者での資料共有を円滑化し、紙の使用量を削減しました。	引き続き、上半期に提案した改善案に取り組み、業務の効率化に努めます。	業務効率化の改善案を年間で以下の5件について、提案・検討し、全てに取り組みました。 ・新議場システムに対応した、議会中継開始から録画配信公開までのマニュアルを作成、担当者間で共有しました。これにより、業務効率化と作業を標準化しました。 ・議長公務に関する資料の電子化によって、関係者での資料共有を円滑化し、紙の使用量を削減しました。 ・視察受入れ事務について、案件ごとに受入れ調整台帳の作成、所管課とのグループチャットの活用をすることで情報共有、調整等にかかる時間を短縮するなど業務を効率化しました。 ・整備した調査法制係所管業務マニュアルを担当者間で共有し、定型業務における作業効率を向上させました。 ・議長公務管理表の見直しを行い、課内で共有すべき情報や確認事項の記載欄を新たに設け、議長公務に関する連絡調整業務を円滑化しました。	①5件 ②5件	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	引き続き、事務事業のさらなる改善に向け、既存業務の効率化を行っていきます。
4	事務 事業 見直し	紙の削減	ノートPCやタブレット端末の活用による紙の削減に加え、視察受入れ時の説明資料を事前のメール送付等で代替することにより、紙の削減をします。	視察受入れ件数に占める説明資料のペーパーレスでの実施率	15%	◎	視察受入れ件数全20件のうち、9件(45%)をペーパーレスで実施しました。	引き続き、ノートPCやタブレット端末の活用による紙の削減に加え、視察受入れ時の説明資料を事前のメール送付等で代替することにより、紙の削減をします。	視察受入れ件数全34件のうち、11件(32%)をペーパーレスで実施しました。	32%	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	引き続き、ノートPCやタブレット端末の活用による紙の削減に加え、視察受入れ時の説明資料を事前のメール送付等で代替することにより、紙の削減をします。
5	重点 事業 プラン	「子どもにやさしいまち」の実現に向けた取組	高校生と町田市議会議員の意見交換会について、高校生が日頃から思っていることを自由に表明できるようなイベント運営を行います。寄せられた意見については、実施報告書にまとめて市長へ送付します。	参加者の満足度	90%以上	○	第7回高校生と町田市議会議員の意見交換会を11月3日(日)に開催することに決定し、町田市議会議会運営委員会及び町田市議会広報広聴小委員会においてイベント運営について協議・検討し、市議会だよりや市議会ホームページ等による開催案内や参加者募集の広報等を行いました。	11月3日(日)に、第7回高校生と町田市議会議員の意見交換会を開催します。終了後は、寄せられた意見を実施報告書にまとめて市長へ送付します。	11月3日(日)に、第7回高校生と町田市議会議員の意見交換会を開催し、過去最大規模となる46名の高校生と21名の市議会議員が参加しました。活発な意見交換が行われ、高校生にとっても、市議会にとっても有意義なイベントとなりました。終了後に、参加高校生を対象に行ったアンケートでは、満足度98%と高い評価を得ることができました。	98%	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	引き続き、高い満足度が得られるよう、高校生にとってより意見を伝えやすいテーマとなるよう工夫するなど、運営方法を検証します。

部課名		議会事務局議事担当											
課の使命		・議会の権能を十分に発揮できるよう市議会を補佐する機関として、円滑な議会運営に努めます。 ・市民の代表である市議会議員の議員活動をサポートすると共に、正確で迅速な議会情報を広くわかりやすく提供していくことで、市民・議員(来市される他市の議員を含む)・行政など幅広い顧客の信頼へとつなげていきます。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定													
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	中間確認		年度末確認				
							上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	-	新議場システムの操作マニュアルの作成	新議場システムのマニュアル案を実際の議会運営で活用し、効果検証を行います。また、システムを効率良く議会運営に活用する為、必要があれば業者に修正依頼します。 (新議場システムとは、議場、委員会室の音響映像設備及びその他附帯設備のことです。)	新議場システムの操作マニュアルの作成	マニュアルの作成	○	システムに想定外の不具合が生じたため、業者に修正依頼を行いました。不具合に対するシステム変更を含めてマニュアル(案)の修正を行いました。	議場システムに不具合が生じないよう、業者と調整を行います。また、3月末までに操作マニュアル(最終版)の作成に向けて修正作業を行います。	新議場システムの操作マニュアルを作成しました。各定例会時に発生した不具合についても業者と調整及び修正を行い、それに合わせて操作マニュアル(案)の改良を行い、操作マニュアル(最終版)を完成しました。	マニュアルの完成	C	C:目標水準を達成したためです。	議事係全員が円滑に議場システムを運用できるように操作業務の習熟度を上げる必要があります。また、議場システムに不具合が頻発している為、今後も業者との調整が予想されます。
2	-	会議運営に関する業務の棚卸し	本会議・委員会運営に関する各業務について、現状では整合性が見つからないことや、紙資料削減に向けた取組等、AI等の新しい技術を活用してより効率化できることを課題として洗い出します。その後、必要な改善策を検討し、取り組みます。	現状と課題の洗い出し	現状、課題の洗い出しとシート作成の準備	○	業務の棚卸しシートをフォーマット(案)を作成しました。あわせて、係内で業務の課題の洗い出しを行いました。	3月末までに業務の棚卸しシートをフォーマットを完成させます。また、業務の課題で取り組めるものがあれば、改善策を検討して取り組みます。	当初、業務の棚卸しシートのフォーマット作成準備を目標としていましたが、予定より早くフォーマットを完成させました。また、課題の洗い出しを行った上で、今年度対応できるものを検討し、決算意見集約時に、紙資料ではなくデータ格納することにより、作業時間の短縮及び紙資料の削減をする等、予定より早く課題の改善をしました。	業務の棚卸しシート及び一部課題の改善	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	来年度も課題の改善策を検討し、対応する必要があります。